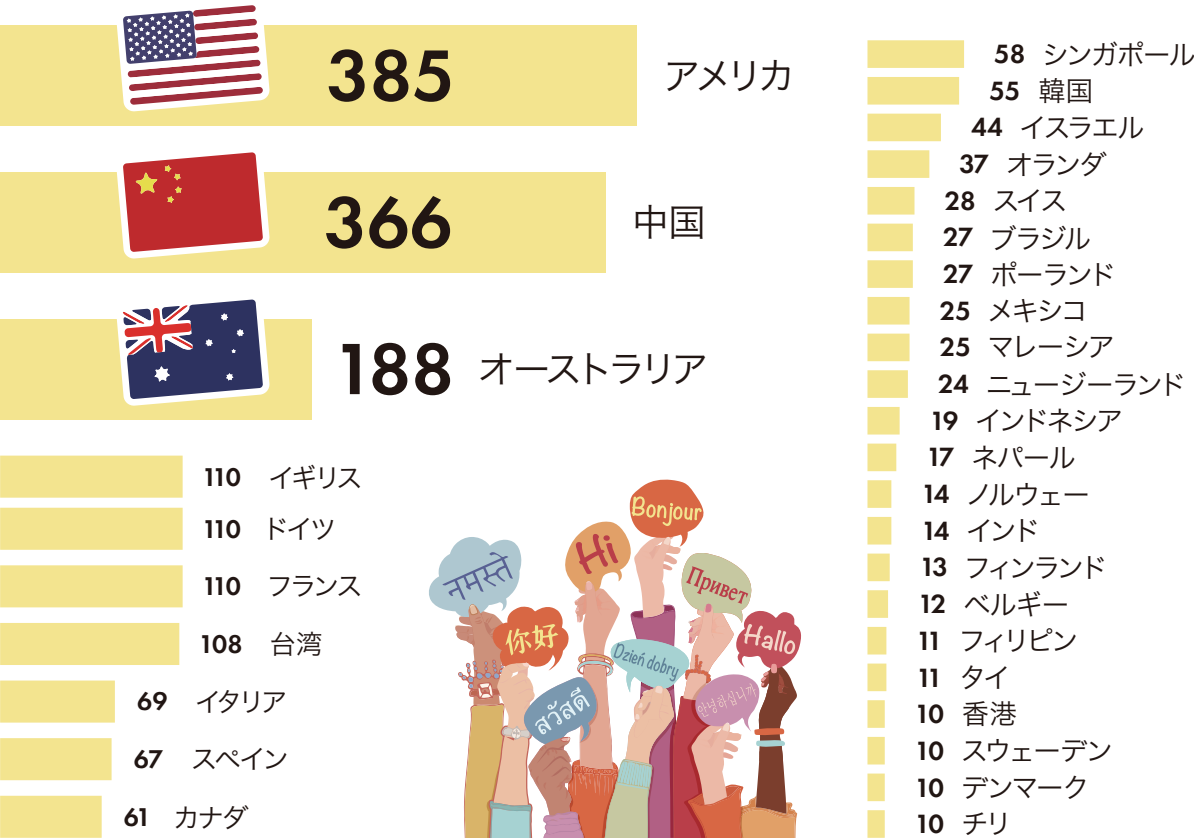


外国人患者さんの受け入れでお困りの先生へ — 当院の支援体制をご紹介します

新型コロナ収束後、訪日の外国人が増えてきており、昨年は当院で1,700名以上の外国人患者さんを受け入れました。当院の「外国人医療支援部門」では、英語・中国語・韓国語に対応できる専任の医療通訳を配置しており、通訳による診療サポートはもちろん、医療書類の翻訳、受け入れ体制の整備、患者さんとの事前相談など、多岐にわたるサポートを行っています。外国の方でも安心して、快適に診療を受けられる環境を整えており、患者さんからも感謝の声を多くいただいております。外国人患者さんの対応でお困り際には、ぜひ当院へご紹介いただければ幸いです。



2024年度 国別来院者数



その他の たくさん の国々から	ロシア	チェコ	クウェート	サウジアラビア	リトアニア	コスタリカ	カザフスタン
	アルゼンチン	トルコ	ミャンマー	モンゴル	ラオス	イラン	サルビア
	アイルランド	ギリシャ	スロバキア	アラブ首長国連邦	エストニア	ラトビア	パナマ
	オーストリア	コロンビア	ペルー	ハンガリー	ブルガリア	バングラデシュ	アイスランド
	ポルトガル	ルーマニア	スロベニア	南アフリカ	クロアチア	エジプト	

康生会 武田病院 2025年 夏号

地域医療連携だより



感染管理/慢性心不全 認定看護師紹介

理念	思いやりの心 地域社会の信頼 職員相互の信頼	基本方針	ブリッジ・ザ・ギャップス 患者さんの権利の尊重 信頼の医療に向けて 地球にやさしい環境づくり	環境方針	省資源・省エネルギーの推進 廃棄物の3R（減らす、再使用、再資源化）の推進 安全性・快適性の推進 環境広報活動の推進
----	------------------------------	------	---	------	---

専門分野で患者さんを支えるプロフェッショナル

現在、武田病院には特定の看護分野において、熟練した知識と技術を持ち、水準の高い看護実践のできる、特定看護師17名と認定看護師13名在籍しております。その中で今回は「感染管理特定認定看護師」

と「慢性心不全看護認定看護師」を紹介いたします。その他の特定・認定看護師については武田病院ホームページにて紹介していますので、是非ご確認ください。



「薬が効かない菌」が増えていることをご存知ですか？

今、世界中で「薬が効きにくくなる菌（薬剤耐性菌）」の増加が問題になっています。これは、細菌感染症の治療に使用する抗菌薬が効かなくなり、これまで治療できていた病気が命に関わるものになる危険な現象です。

当院では、薬剤耐性菌の発生を防ぐ為、院内感染対策チームが中心となり、抗菌薬を「必要な時に、必要な量だけ」使用するよう、医師やスタッフへの助言や、使用状況の監視、勉強会の開催などの活動を行っています。

昨年度に特定行為研修を修了した私個人としては、毎日全ての細菌検査結果の確認や、医師へ抗菌薬の選択についての提案、必要な培養検査の実施依頼など、院内全体の抗菌薬適正使用に取り組んでいます。これにより、適切かつ迅速な感染症治療に繋がっています。

適正使用については、病院内の活動だけでなく、地域全体での連携が不可欠です。その為、当院では年4回「感染対策合同カンファレンス」を開催し、近隣の医療機関や介護施設の皆様と、感染対策や抗菌薬適正使用に関する情報を共有しています。

今後は、地域の医療機関ならではの感染の情報も共有することで、地域全体の感染対策に活かしていく方針です。

なお、カンファレンスへの参加に限らず、先生方からのご相談を受け付けていますので、お困りの際はお気軽にご連絡ください。

感染管理特定認定看護師
荻野 伸光



現在、高齢化が進む日本では心不全患者が年々増加し「心不全パンデミック」とも呼ばれる深刻な状況となっています。心不全は増悪と寛解を繰り返しながら徐々に進行していく病気です。心不全で再入院する原因は、塩分・水分制限や治療薬服用の不徹底など患者さん自身の生活管理に起因するものが多くを占めています。そこで、私たちは急性増悪で入院された患者さんに対して、入院前の生活状況から心不全の増悪因子を評価し、生活習慣の見直しや服薬・塩分・水分管理の重要性など、退院後の生活を見据えた療養指導を行っています。入院中はもちろん、退院後も患者さんの生活背景や価値観に寄り添った「外来療養指導」も行なっています。さらに、ACPの視点を取り入れた意思決定支援や、一部の植込み型心臓デバイスによる遠隔モニタリングも導入し、心不全の早期発見・増悪予防に努めています。当院では、心不全センターを開設し認定看護師を中心に多職種チームで患者さんを支援し、心不全の再入院率は全国平均より低い値を維持しています。患者さんが住み慣れた環境で安心して「その人らしく」療養を続けられるよう、体制を整えています。心不全の急性増悪を繰り返している患者さんや、生活管理に難渋されている患者さんがおられましたら、是非ご紹介ください。

慢性心不全看護認定看護師 荒木 有紀



心不全患者さんを支える
認定看護師の役割